

## 第2回 光駅拠点整備デザイン会議 会議録

日時：令和元年12月18日（火）18：30～20：15

場所：光市役所3階大会議室1・2号

### 【出席者】

- ・委員：8人（代理出席1人、欠席5人）
- ・アドバイザー：2人
- ・オブザーバー：3人（代理出席1人）
- ・事務局：6人、ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社：2人

### 1 開会

### 2 会長あいさつ

皆さん、こんばんは。第1回デザイン会議では昨年度までの取組みと今年度からの取組み予定と、基本計画の対象となる光駅周辺の現状について議論いただいた。今回は現状と課題、基本的な方向性についての2点が内容となっている。皆様の屈託のないご意見を頂戴しながら、積極的なご発言をお願いいたします。アドバイザーとしてご出席いただいている先生方からも専門的立場からご意見、ご助言をいただきながら進めたい。

### 3 議題

#### （1）現状と課題について

##### ● 会長

議題（1）現状と課題について、事務局より説明をお願いしたい。

##### ● 事務局

<事務局より資料1ページ～10ページに基づいて説明>

##### ● 会長

ただいま、事務局から、利用者ワークショップの結果を中心とした光駅前の現状と、それを踏まえた課題について、説明があったが、これに関して、ご意見、ご質問などあれば、お願いしたい。

##### ● 委員

複数の課題が挙げられているが、その中でも「安心・安全」を優先的にやっていくべきだと感じた。優先度の高い課題を決めた方が良いのではと思うが、事務局の中での優先順位があれば教えてほしい。

##### ● 事務局

課題として挙げた5項目の中で優先順位はつけていない。可能な限り全て解決すべきと考えている。

##### ● 会長

議題2のなかで整備内容の重要度についても議論するということによいか。

##### ● 委員

財政が厳しい中で、すべて包括的に解決できるのかが気になった。

● **事務局**

課題の解決方法により程度の差はあると思う。議題2では選択肢が色々考えられる中で包括的に解決していくための方策や流れについて示したい。

● **委員**

前回の会議では、駅とその周辺の整備は分けて考えるということだったが、同時に進めるということか。

● **事務局**

基本計画の対象は駅と南北自由通路、駅前広場としている。工事が一度に行えるかは別にして、JRとも連携しながら一緒に検討していきたいと考えている。

● **委員**

南口駅前広場の送迎は停車できる場所がなく非常に危険だと感じる。バスもタクシーも一般車も一緒に停車しているところが一番の課題だと思う。

● **会長**

議題2の資料の中にも説明があるので、後ほどご説明いただくということでよいか。

● **事務局**

南口駅前広場の一般車の送迎は課題の1つ目及び2つ目にも含まれるほか、ワークショップでも意見が出ており、非常に重要な課題の1つであると認識している。議題2でご説明させていただきたい。

● **委員**

南口駅前広場のモニュメントは移設するのは難しいのか。現在はモニュメントの周囲に一般車が停車して乗降しており、ロータリー内を人が横断している状況である。モニュメントを移設し、その場所にタクシーや一般車の駐車場所がいくつか置けるようになるだけでも機動性が大きく変わると思う。

南口駅前広場にある駐車場は平日も車がたくさん入っているのか。これを2階建て等の立体駐車場にすれば、収容台数も増えて収入も増えると思う。2階建ての駐車場から自由通路に直結すれば広場も確保できるし避難場所も確保できて、色々なイベントもできてすばらしいのではないかと思う。

● **会長**

議論の内容が方向性の部分に迫ってきているので、議題2に移りたいがよいか。

● **委員**

これから方向性を決めた後に、例えばJRが内容を否定すれば企画は白紙になるのか。関係者との調整は行っているのか。関係者との協議状況を教えてほしい。

● **事務局**

駅施設については、この場で議論したことが決定にはならず、協議を行いながら決めていくことになる。バス会社やJR等との協議は既に並行して行いながら計画作りは進めている状況である。

● **委員**

会議の内容がすべて否定されることはないということだよいか。

- **事務局**

デザイン会議は決定機関ではなく、あくまで市が計画を作成する過程でご意見をいただく場であることをご承知いただきたい。

## (2) 基本的な方向性について

- **会長**

議題2の基本的な方向性について、事務局から説明をお願いします。

- **事務局**

<事務局より資料11~21ページに基づいて説明>

- **会長**

事務局から、先の課題を踏まえた基本的な方向性の案について、説明があった。整備のコンセプトとして、2つの大きな視点と、5つの整備の方向性により、「人、交通、自然をつなぐ、つながる光駅」を目指すという基本的な考え方とともに、その概念に沿った具体的な施設整備の検討案の説明があったが、ご意見、ご質問などあればお願いしたい。

- **委員**

光駅を整備する場合の資金はJRが駅舎、市が駅前広場を負担するということになるのか。

- **事務局**

駅と周辺整備は一体的に行うものと考えていただきたい。本来、鉄道施設は鉄道事業者、市の施設は市がそれぞれ負担して整備するものだが、線路上空に自由通路を設置する場合の費用負担の考え方について国土交通省が定めた要綱があるので、それに基づいて費用負担することになる。

- **委員**

駅のトイレはあまりにもお粗末で身障者には使えない状況だが、整備が何年も先となればトイレも同様に整備の時まで現状のままとなるのか。トイレを洋式にする、多機能トイレを設置するなどの整備を先行することは可能か。

- **事務局**

トイレの整備についても整備計画のなかで検討していきたい。公衆トイレとして市が作るのか、改札内にJRが作るのかなど持ち分も含めて色々な整備方法があるのでこれからJRと相談しつつ進めることにはなるが、整備自体は行いたい。先行した整備が良いかは、周辺の整備に合わせて再び作り直すことの無いように注意しながら検討したい。

- **委員**

極端に言えばトイレは10年も20年も、あのままの状態になることはあり得るか。

- **事務局**

今後整備スケジュールも示していく予定だが、基本構想でも駅周辺整備は先行して取り組んでいこうと考えているので、10年後、20年後にはならないと考えている。

- **委員**

南北自由通路は自転車も通行可と考えているか。自由通路に車も通行できるようにすることは可能か。南北に広場を整備すると費用がかかるため南北に計画する駅前広場を一元化し、車が自由に南北を行き来できれば良いのではと思った。また、瀬戸風線が開通すると、光を通過して下松や徳山に行ってしまうのではと思うので、バイパス的な役割で光に寄り道して

もらえれば良いと思う。

● **事務局**

自由通路に自転車が通行できるようにするかは検討中である。車の通行に関しては考えていない。技術的な部分で言えば例えば線路上空7mの位置で横断した場合、勾配5%で地上に降りてくるのに単純計算で160m必要になる。そのことから費用面と用地確保が非常に難しいと考えている。

● **会長**

瀬戸風線の開通は概ね10年後に予定されている。それができた時にメリットがあるかの判断は難しいように思う。また、自由通路は歩車分離の方が安全だと思う。

● **委員**

光駅に特化した資料に見えないが、光市オリジナルのお考えを教えてください。また、にぎわい等にも触れられているが光駅は市の端に位置していることや、光市は市の中心がはっきりしていないこともあるので、にぎわい施設を作った時に誰がどう利用するか、将来を考えた時にどうかなど、光市の独自性についてお伺いしたい。

● **事務局**

光駅オリジナリティの部分は、例えば駅施設の形状は光駅の高低差のある地形を考慮したものとしており、乗換跨線橋の配置についても駅利用の実態として乗換がないことを考慮して検討している。光市全体の計画については、市のマスタープランで光市周辺を含む3つの都市拠点を決めているが、分散型の都市であることから中心市街地はない。人口減少が進む中でも光駅は市の玄関口としてまちの顔であり、交通結節点という位置付けであり、都市機能を集約して利便性の高い都市づくりを行っていきたい。にぎわい創出に関しては、人が集まって滞留してほしいという思いを持っているので民間活力や資金を活用して可能性についても検討していければと思う。

● **委員**

もっと広域の話や夢のある話など、デザインについて議論できれば良いと思う。

● **会長**

基本的な方向性として駅前広場や自由通路位置に関する部分についてもご意見があればお願いしたい。

● **委員**

北口駅前広場は利用者が多いので利便性が向上することは賛成だが、北口にバス乗り場を整備した場合、南口のバス乗り場もすべて集約されるということか。

● **事務局**

現在南口を発着するバスを集約するのではなく、駅北側の道路沿いに分散して配置されているバス停を北口広場に集約したいと考えている。整備後は駅の南北両方にバス乗り場があると考えていただきたい。

● **会長**

駅北側には病院も完成し、ぐるりんバスだけでなく路線バスも乗降するようになった。バスがロータリーに入るためには12mのバスの転回ができるスペースがあるか心配である。

● **事務局**

現時点で状況は申し上げにくいですが、バスを転回させるためには北口広場の奥行を広げる必要がある。用地の問題もあるので検討課題としたい。

● **会長**

南北自由通路は虹ヶ丘側が急なスロープ、南側が階段のみとなっているので、これらを解消することが主な目的と考えてよいか。

● **委員**

光駅は機能が南側に偏っていると思う、それを解消するためにも2案（橋上駅案）が良いと思う。交番も南口にしかないので、図の駅施設の部分に置けば南北両側にアクセスしやすくなり、より安心・安全になると感じた。

● **委員**

北口は夜になると静か過ぎて怖い。駐車場も19時には電気が消えてしまう。駐輪場だけは夜も明るくて安心だが、団地も人口が多いし学生の利用もあるので交番があればいいと感じることはある。

● **事務局**

21ページにお示ししている図の緑色部分が市の施設、水色部分がJRの施設として考えている。現実的には駅施設部分に交番を配置することは難しいと考えている。

● **委員**

南口への施設の偏りについては検討してほしい。

● **委員**

21ページの3つの案の中で一番早く完成するものはどの案か。

● **事務局**

多少の長短はあるものの、工事期間に関しては案によって何年も異なるものではないと考えている。

● **会長**

皆さんの意見を伺いながら作り上げる駅舎という方向になればよいと思う。3案（両側改札案）は改札が2箇所あり、IC対応があれば2箇所の改札も対応できそうだが、現段階では難しいように思うがいかがか。

● **委員**

エスカレーターはつくのか。

● **事務局**

階段とエレベーターを想定している。

● **事務局**

駅舎の案として21ページに3つの案を挙げているが、この案は使いにくいなど、利用されている方としてのご意見をいただきたい。駅利用者の動線が各案で異なっている。

● **委員**

例えば2年後にはICOCAが導入されるなどシステムは変化していく。光駅も南口は現在も時間によっては無人となっているし、昼間でも駅員さんが1人の時には検札せずに通過して行く人も見かける。それならば、自由通路を機能的に拡充し、南北が安全なように常に人がいるようにする、例えば市からの業務委託のような形で自由通路に施設や店舗等を運営

することに加えて南北駅前広場もみるようにするなど、JRの施設ではなく市で主導的に動かせるようにする方が良いと思う。

● **事務局**

整備はスピード感をもってやりたいと考えており、基本計画案もなるべく早く作成したい。まずはJRの駅機能は現状のものを前提で進めざるを得ないが、限られたコストの中で整備する方策を考える必要がある。できれば、21ページにお示しする現状の3案について、どの案が良いなどのご意見をいただきたい。

● **アドバイザー**

どの案が良いかは条件整理が整っていないので今決められることではない。この3案については建築的にかなり工夫できる案なので、ここでどの案がいいかはあえて聞かない方が良いと思う。

● **委員**

現在の機能を新しくするだけでなく、自由通路を拡充するなどの意見も踏まえるべきだと思う。にぎわい創出や安心・安全のためにも、どうやったら使いやすいかについて意見を出し合えばよいのではないかと。どのような付加価値をつけるかという観点で意見を聞いても良いのではないかと。

● **事務局**

大きな考え方として、この案でここを工夫したらよいのではないかなどのご意見をお聞きしたい。

● **アドバイザー**

この1枚の表でディスカッションするならばコストや工期など条件整理が必要である。3つの案を比較できる又は自由な意見を出せる資料を提示しないと意見が出にくい。条件の無い状態で自由に議論しているだけでは時間がかかりすぎて着地できない。

● **会長**

一旦案を選択する議論は置いておいて、また改めて議論したい。

● **委員**

3案の場合、駅の2階部分を屋上の広場として組み込むことはできるか。屋上を利用できれば自由空間が広がると思う。そういった案も次回お示しいただきたい。

● **事務局**

屋上を活用する可能性はある。概算事業費は他駅の事例では2案（橋上駅案）が最も高く、3案（両側改札案）が最も小さくなる方向である。

● **会長**

最後にアドバイザーの先生方からご意見いただきたい。

● **アドバイザー**

重要なのは色々な意見が出る適切な資料を提示することである。デザイン会議としては今日の資料に対する基本的な方向性は間違っていないと思う。課題として挙げられた5点は駅周辺もしくは駅を再整備する際にはどれも外せないものである。コストとの関係を見るとアイデアや建築のスペック、材料の質や工期などで調整できる可能性がある。5つの課題を全て解決するというを前提に様々なアイデアから提案できる業者を選んでいかないと良いものはできない。

都市計画としてどうかという話題があったが、光駅周辺整備は現在策定中の立地適正化計画の中でも都市機能誘導区域に指定されているプロジェクトであり、居住・都市機能を誘導しなければならない。戦略をいかに持つかを考えていかないと駅の再生プロジェクトはなかなかできない。また、交通事業者は民間事業者であり、儲からなければやらない。民間事業者も参画できるなどプロジェクトとするための戦略的に進めるためにも乗降客数を増やすためにはどうすればよいか、ロジックを考えなければならない。

オリジナリティについては、光市は地形だと思う。うまくやれば景観上の視点場として非常に良いものとなると思うので、西側に自由通路を設けることは軸線上に配置することができ、北側から南側に行くときに海を感じることでできるデザインが考えられる良い案だと思う。それと戦略性も合わせて3つの案からどう選ぶかである。

#### ● アドバイザー

18 ページにある、課題から方向性までの考え方をもっと分かりやすく整理してほしい。文章を書くか注釈をつける必要があると思う。

南口駅前広場は機能の整除化に関しては、通過交通を排除する、一般車駐車を整備するなどの整備に関する意見が色々出ているのでそれを整理した資料にしてほしい。北口駅前広場に関しては、バスの転回は難しいと思う。バス転回のために鉄道を配線変更するなどとなればかなり大規模な工事になってしまう。整備はどの組合せで実施するかによって整備の総費用が変わってくるので、駅舎の形状を今決めてしまうのはナンセンスだと思う。北口にバスを入れる手法を工夫するなど、方法論として詰めていかないと議論ができないと思う。

自由通路にどのような機能を導入するかはまだ分からないが、施設を付加するアイデアは良いと思った。人がいる状態にしておかないとうまくいかないと思うのでぜひ意識してほしい。

また、整備の過渡期でもきれいなトイレが使用できないかという意見については、先行整備ができる内容でも全体の計画を考えられるので、今日の会議で出したこととして検討していただきたい。

#### ● 会長

以上をもって本日の議事はすべて終了させていただく

### 4 その他

#### ● 事務局

次回の会議については、年度内に開催したいと考えている。日程等が決定すれば事務局から連絡させていただく。ご発言できなかった内容はこの後でも後日でもよいので、事務局までお知らせいただきたい。

### 5 閉会